

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
機能看護学特論Ⅱ		2 単位 30 時間(15 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 後期開講	☐・不可 (下記 7 参照)
科目責任者	佐藤 愛			
担 当 者	佐藤 愛、角濱 春美、福井 幸子、村上 眞須美、新改 法子			
1. 科目のねらい・目標				
(ねらい) 様々な対象のニーズに対応する看護技術や看護ケアシステムの課題に対して科学的・理論的根拠に基づく看護技術や看護ケアシステムの開発、看護手法の確立のための方法を探求する。 (目標) 1) 専門分野における現状の課題について、既存の看護技術や理論的根拠と照らし合わせて分析する。 2) 分析した結果をもとに、課題解決の方策を検討する。				
2. 授業計画・内容				
*この科目は選択した科目担当者が担当します。 佐藤愛】 母性看護における対象の現状や課題について理解を深める。さらに学習した諸理論や諸概念を基盤として、効果的な看護援助のあり方を探究する。 【角濱春美】 看護実践の実証や確立のために必要な看護研究について探求するための概念を構築するために、概念分析、または系統的レビューを行う。自らのテーマについてなにがどこまで明らかになっているのかを検討し、研究に関わる問題点を討議して深める。 【福井幸子】 国内外のガイドラインにある理論的根拠等から得られた包括的な問題解決方法を臨床の現場と照合して課題を明らかにし、有効な看護技術や看護ケアシステム確立のための方法を探求する。 【村上眞須美】 看護管理に関する研究課題について、学習した諸概念や諸理論を基盤として、関連組織や地域における演習（フィールドワーク）をもとに組織分析を行い、課題解決のための方策を検討する。 【新改法子】 感染症看護における対象の病状と課題を明らかにし、個人と集団を感染症から守るための有効な看護技術や感染予防システムを探求する。				
3. 教科書、参考書				
各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。				
4. 成績評価方法				
レポートで評価する。				
5. 受講要件				
なし				
6. 社会人学生に対する配慮				
講義の日時は担当教員と相談して決めることができるように配慮する。				
7. その他				
事前に担当教員と連絡を取り、課題等の指示を受けること。				
また、オンラインおよびオンデマンドによる開講についても担当教員に事前相談すること。				